

# チリにおける理系女性の現状

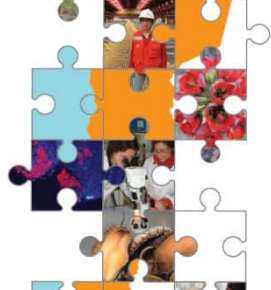
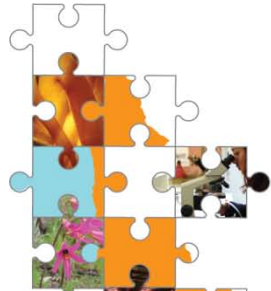
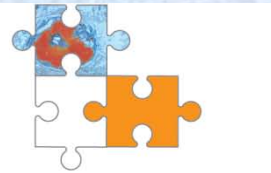
エリザベス・ヴォン・ブランド

APEC女性リーダーズネットワーク会合ワークショップ  
「科学・技術分野における女性リーダーを育成する」  
2010年東京



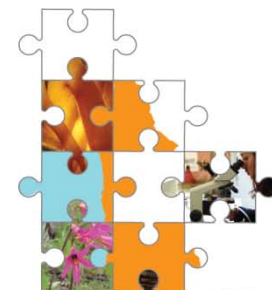
## チリに関する基礎知識

- ✓ 総人口は約1700万人。その約半分が女性である
- ✓ 小学校から高校までが義務教育(12年間)
- ✓ チリは細長い国で、地域によって大きく状況が違う
- ✓ 中部と南部のほうが学校のレベルが高く、大学進学率も高い
- ✓ チリ北部は人口密度が低く、学校数も少ない
- ✓ CONICYT:チリ国家科学技術研究委員会




# 2009年世界ジェンダー格差報告書でのチリの順位


チリの順位	134カ国中64位
健康と生存力	1 (他40カ国と同率で1位)
教育達成度	44
政治的エンパワメント	26
経済参加、経済的機会	112
男女の労働力率	107
男女の平均所得	109
指導的地位にある女性の比率	78
類似労働に対する賃金の平等性	121







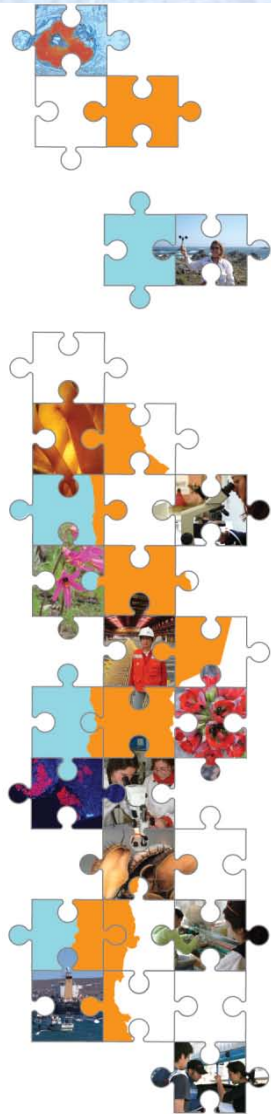
## ..... Gender equality

 2007年と2008年に、科学プログラム「ミレニアム・サイエンス・イニシアチブ」への女性の参加が義務付けられた

 2009年、女性と科学技術に関する初めての全国規模のイニシアチブが始まった—CONICYTのエクスプローラ・プログラム

 40件の企画案のうち、審査に通過した8件が承認された。

 私たちが提案した企画は2010年8月13日に、約250名の女性の参加を得て実施された。

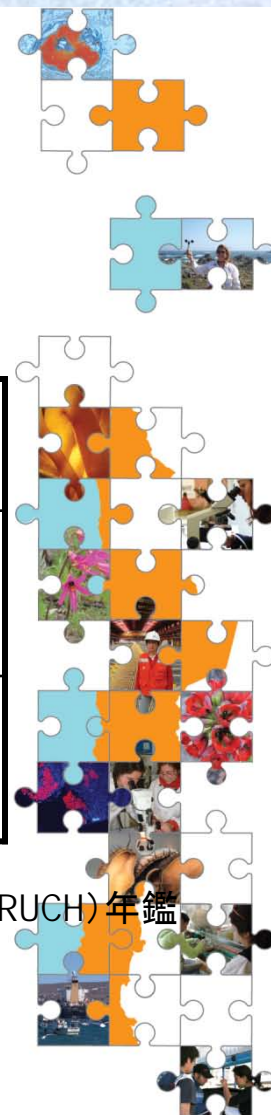


## 1997年から2006年の間に チリの大学に在籍していた学部生の内訳

在籍学生	1997	卒業者	2006	卒業者
女子 (%)	45.03	48.55	48.46	53.34
男子 (%)	54.97	51.45	51.54	46.66

出典: チリ大学学長審議会 (Consejo de Rectores de Universidades Chilenas/CRUCH) 年鑑

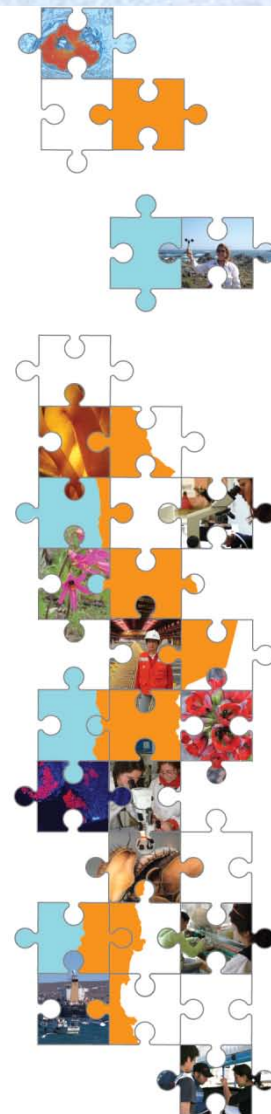
**傾向: チリの大学では女子大生の数が増え、2009年に初めて、学部で学ぶ男子学生より女子学生のほうが多くなった**



# 1997年から2006年の間にチリの大学に在籍した 大学院生の内訳

在籍学生	1997	卒業者	2006	卒業者
理学修士課程 女子 (%)	40.89	39.2	41.94	34.87
男子 (%)	59.11	60.8	58.06	65.13
理学博士課程 女子 (%)	37.75	43.86	41.98	34.54
男子 (%)	62.25	56.14	58.02	65.46

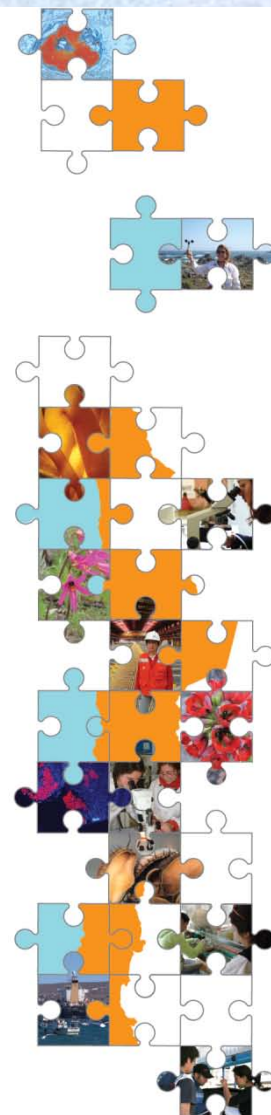
出典：チリ大学学長審議会 (Consejo de Rectores de Universidades Chilenas/CRUCH) 年鑑



## チリの女性研究者を取り巻く現実

- 学部レベルでは男子と女子の数がほぼ同数
- 大学院レベル: (♀ 対 ♂)
  - 理学修士・博士課程に在籍する女子は、男子より17% 少ない
  - 修士号・博士号を取得する確率は、女子のほうが男子より 30% 低い
- 博士研究員に対する助成金: 17%が女性研究者に交付されている
- 研究資金: 女性研究者の数が増えた結果、競争が激しくなり、使える予算が減っている。
- 論文の査読者: 女性は全体の約20%

出典: 2008年度、2009年度FLACSO報告書





## 現在までの成果の例

- 科学・技術分野において女性が果たす役割や存在についての議論が公的な場になされるようになった
- 様々なレベルで(こうした女性たちに対する)意識が形成されている
- 公共政策が、子育ての責任を夫婦が共有すべきだという認識のもと、策定されるようになってきた(例:男性も育児休暇が取れるようになった)
- 政府が助成する研究や研究計画の申請中に、出産休暇や育児休暇を認める案が検討されるようになった

